

健全な企業経営を行うために

ワタキューグループの事業活動はさまざまな形で社会と関係しており、健全な企業経営を行うためには、お客さま、お取引先、社員をはじめとする数多くのステークホルダーの皆さまから信頼を得る取り組みを、積極的に展開することが重要と考えています。

コーポレートガバナンス

3つのテーマを据えて コーポレートガバナンス体制を充実させています

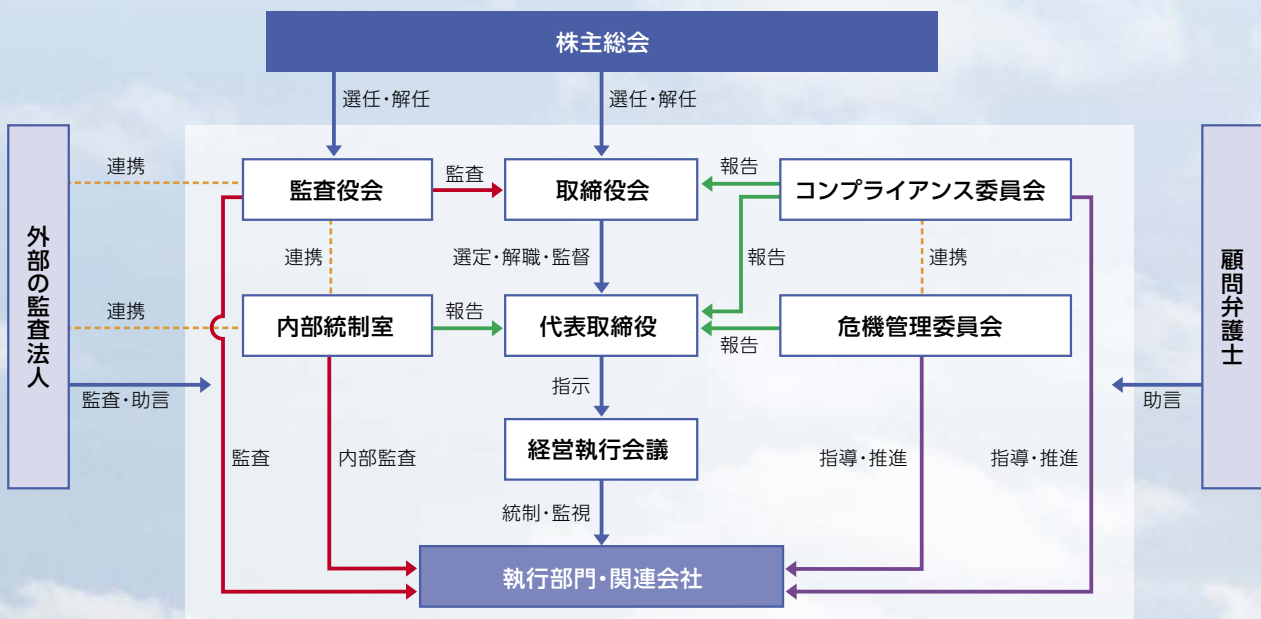
ワタキューセイモアは現在、コーポレートガバナンスとして、「企業経営の公正性・透明性の向上」「適正な意思決定プロセスの確立」「コンプライアンスの徹底」の3つをテーマに取り組みを進めています。

今後も社は「心」の基本方針に則り、ステークホルダーの皆さまから信頼され成長を続けるためにコーポレートガバナンスを充実させていきます。

監査には社外からも参画、執行状況を確認しています

弊社では、「監査役会(社外監査役3名を含む)」と「外部の監査法人」が監査を行い、加えて「内部統制室の内部監査部門」が業務監査により執行状況を確認しています。それぞれの監査人が連携をとり、監査を行うことで、企業の健全な経営と継続的な発展に不可欠な内部統制の構築、運用状況および有効性の点検・評価に積極的に取り組み、是正・改善を進めています。

コーポレートガバナンス体制図



リスク マネジメント

適正業務がなされているか、 権限を持った内部統制室が監査・調査を実施

弊社では、業務を適正に執行し、さらにはその体制を維持していくために、社長直轄の内部統制室を設置しています。適正な財務報告・社会法規や社内規程に基づく業務・公正な商慣習の遂行・基本方針の実践・経営方針に沿った業務などが主な監査や調査の対象です。監査・調査の結果は社長に報告し、これを受けた社長が自ら改善や是正などの指示を発することで、適正業務の確保を図っています。

危機管理マニュアルやセミナーで リスクマネジメント・啓発を実施 万が一のときは緊急対策本部を設置

弊社では、リスクマネジメントを健全経営のための大切な活動としてとらえています。危機管理委員会が中心となり、危機管理マニュアルの作成やグループ全体を対象とした危機管理セミナーの定期的な開催など、事象に対する啓発活動を行っています。万が一のときには、設置基準に基づいて社長が緊急対策本部を設置し、事務局を中心に発生した事象に適切に対応、問題の早期解決を図ります。「発生の予防」と「発生後の対応」の両面から取り組みを進めています。

コンプライアンス

社員研修などで遵法意識を徹底、 重要な問題は委員会で審議

弊社では、社員研修やマニュアルの配布を行い、遵法意識を教育しています。さらに内部統制システムの稼働による調査や重要な問題を審議する社内コンプライアンス委員会の設置により、法令遵守の徹底を図っています。

情報 セキュリティ

内部情報共有システムやTV会議で 情報セキュリティの周知を徹底

弊社では、情報セキュリティに関わる規程を作成し、IT統制を行っています。また、全社員がいつでもアクセスできる内部情報共有システムで公開しています。新たな技術やツールの導入に対応するとともに、必要に応じた規程の追加や見直しを行って随時更新しています。特に重要な事項については冊子の配布やTV会議システムの使用などによる社員教育を実施し、内容の周知徹底を図っています。タブレット端末については、一元管理することでウイルス感染と情報の漏えい防止、双方の対策を実施しています。